

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦

主審 向井 和宏

副審 津軽 啓二

育英 43

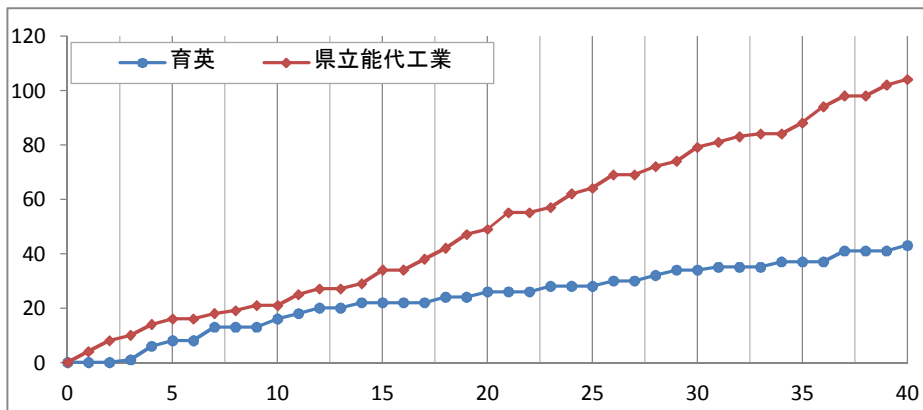
(兵庫) ●

16	-	21
10	-	28
8	-	30
9	-	25
-	-	-

104 県立能代工業

○ (秋田)

No. 29f5 日時: 2013年7月29日(月) 16:10 会場: 大分県立総合体育館



育英

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 龍 季弥 (C)	9	1	2	2	2
5	* 玉井 篤志	9	0	4	1	3
6	大塚 雄生穂	0	0	0	0	0
7	脇田 伊織	2	0	1	0	1
8	秋谷 祥汰	-	-	-	-	-
9	永田 湧大	0	0	0	0	0
10	加島 知樹	-	-	-	-	-
11	* 肥後 将俊	16	0	8	0	4
12	牧谷 朋紀	-	-	-	-	-
13	* 塩見 亮太	7	1	2	0	0
14	布 賢二	-	-	-	-	-
15	* 中島 智紀	0	0	0	0	0
コーチ 沼波 望						
合計		43	2	17	3	10

県立能代工業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 松本 大河 (C)	9	1	3	0	1
5	* 佐々木 健登	11	0	5	1	1
6	中島 強太	26	3	7	3	3
7	* 小田桐 匡志	2	0	1	0	0
8	湊 俊樹	5	0	2	1	1
9	* 砥綿 啓伍	12	0	6	0	0
10	荒木 直	2	0	1	0	0
11	安保 友貴	4	0	2	0	0
12	三根 一求	0	0	0	0	0
13	長谷川 暢	13	1	5	0	0
14	齊藤 大輔	7	0	3	1	1
15	* 中村 碧杜	13	0	6	1	3
コーチ 佐藤 信長						
合計		104	5	41	7	10

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

第1ピリオド両チームともにマンツーマンDefでゲーム開始。県立能代工業#9のリング下シュートで先制しその後も#9の巧みなゲームコントロールによる連続ゴールを挙げ0-8になったところで育英たまたまタイムアウト。Defを育英2-2-1からの2-3へ切り替えゲームの流れを変えようと試みる。育英の#4フリースローで1点を返しさらに#4が追加点を挙げる。その後県立能代工業わずかにリードしながら一進一退の攻防が続く。育英のゾーンプレスに県立能代工業は落ち着いてボールを運び、ドライブ、ポストプレイで巧みにゾーンを攻略する。しかし育英も兵庫県第一代表の意地を見せ、#4のドライブやジャンプシュート、3Pシュートなどで食らいつき、16-21と県立能代工業わずかに5点リードで第1ピリオドを終える。第2ピリオド22-29と県立能代工業7点のリードから、22-32とリードを広げ、県立能代工業応援団の喝さいを浴びる。両チームその後点を取り合い県立能代工業は育英が選手を交代させた瞬間に1-2-1-1からの2-1-2にDefを切り替えた。その後交代で入った#6が11点、#13が6点の怒涛の攻めで前半を26-49の県立能代工業リードで終える。

第3ピリオド流れがつかめない育英は7分間経過した時点でこのピリオド4-23とリードを広げられた。1-2-1-1ゾーンプレスを嫌い、ボールがうまく運べないうえにハーフコートでも2-3で激しいプレッシャーをかけられた。育英はタイムアウトで流れを変えようとしたが、容易に流れは変わらず34-79と大差をつけられ第3ピリオドを終えた。第4ピリオドに入り育英は#5、#11が4点、#7が2点に抑えられ反撃もかなわなかった。それに対し県立能代工業は選手全員を出場させる余裕の展開で結局43-104で一回戦を突破した。育英はパワフルで走るバスケットを展開したが、県立能代工業の選手層の厚さに実力を封じ込められたかのようであった。

記載者 大津 秀樹 (所属) 大分県バスケットボール協会